



紀宝の珍百景
めぐらしだい

Unusual Scenery

おだやかな一年を願う新年の光

朝焼けに火がともる灯台

今回の珍百景は鵜殿港にある灯台と日の出が重なり、おだやかな日の先端に火がともつたものに見える幻想的な一瞬を捉えた一枚をご紹介します。

この写真は、鵜殿地区にお住まいの方から提供いただいたもので、撮影した方にお話をうかがうと「日課にしている鵜殿港の散歩中、灯台と日の出が重なる瞬間に出会い、思わずシャッターを切りました」と話していました。

静かな港にやわらかな朝の光が差し込み、凛と立つ灯台の姿が静かに浮かび上がっていきます。澄んだ空気とおだやかな水面が、港に広がる落ち着いた景色をやさしく包み込んでいます。

新しい年の幕開けに、港町ならではの静けさと力強い光が重なったこの一枚が、みなさんの心にそっと寄り添い、おだやかな日々への一歩を照らす小さな希望の灯となることを願っています。

話は変わりますが、最近特に、時間が経つのが早く感じたりじがあつねむ。つるの前、「もうすぐお正月」と語っていたはずなのに、気がつけばカレンダーは一枚田。広報紙の締め切りに追われながら、「え、もう一年たつたの?」と毎年同じことをつていての感がします。

年齢なのか、仕事なのか、それとも単に自分の記憶力の問題なのか…。理由はやいねや、一日一日があつところ間に過かしてしまはる(笑)。朝「今日は余裕がある」と思つていたせむのに、気がつけば夕方で、「もうこんな時間?」と歎息に語しかけている自分がふたつあります。

今年の目標は、歯磨に迎われるのでせなー、歯磨と上井にせよぐれいじです。やねぐれいとに追われてしむと、つる「呼べ」「次へ」と振舞が先に進んでしまはるかわいわが、ほんの少しだけ立ち止まることが心がけたふうです。

…せふれ、おお上井つよわいし歯磨の切つに躊躇つてからねこもへ、歯磨をつたじと聴こねむ(笑)。

(歯磨の切つに迎われた 田中 健太郎)
(今田卯也ね休み 鶴越 大成)

新年あけお祝いねむドレハバヤカニモホ。
ねむじいがじこめす



ひじこじ

田中健太郎